情報抹消を求め 県と国追加提訴

大垣署漏洩で原告側

大垣市内の風力発電施設建設をめぐり、大垣署に個人情報を集められ、中部電力子会社「シーテック」に伝えられた住民4人が県を相手に起こしている訴訟の第5回口頭弁論が29日、岐阜地裁であった。原告側は保護の対象となる情報の範囲について、「自ら外部に発信しているか否かに関わらず、個人情報はプライバシー保護の対象となる」と主張した。

原告側は同日、県と国を相手取り、原告4人の個人情報の抹消を求める追加提訴を岐阜地裁に起こした。

訴状によると、原告側は2014年夏、県警に個人情報の開示を求めたが、情報の存在の有無についても回答を拒否されたという。

提訴後の会見で弁護団の山田秀樹弁護士は「公安警察が長期間にわたり個人情報を収集し、保管していることを問題視した」と述べた。警察庁と県警は「訴状を見ていないのでコメントを差し控えたい」としている。

← 2018年1月30日
朝日新聞

個人情報保管で侵害

大垣漏えい 住民側が追加提訴

西濃地方での風力発電施設建設を巡り、反対する住民の個人情報を大垣署員が中部電力子会社のシーテック（名古屋市）に提供したとされる問題で、プライバシー権などを侵害されたとして損害賠償を求めて県を提訴している大垣市の六十代の男女四人が二十九日、県と国に対し、保管していると思われる個人情報の削除を求め、新たに岐阜地裁に提訴した。

訴状によると、原告らは二〇一四年七～八月、県警に対し、収集、保管した自分たちについての個人情報の開示を請求。県警は情報の有無を明らかにしない非開示決定をした。

だが原告らは、県警と警察庁警備局がそれぞれ個人情報を保管していると推認し、人格権の侵害に当たるとしている。

提訴後、岐阜市内で会見した原告側の弁護団は「警察の情報収集活動についてトータルで（総合的に）問題提起し、その違法性を問う」と述べた。

警察庁は「訴状を見ていないのでコメントを差し控えたい」とし、県警監察課も「訴状が届いていないのでコメントできない」と話している。

2018年1月30日
↓ 中日新聞

個人情報抹消 求め追加提訴

大垣の原告団

中部電力の子会社「シーテック」（名古屋市）が大垣市などに計画する風力発電施設を巡り、個人情報を大垣署が同社に漏らしたとして県に損害賠償訴訟を起こしている住民4人の原告団は29日、国と県を相手取り、個人情報の抹消を求めて岐阜地裁に追加提訴した。今後、係争中の損害賠償訴訟と併合審理される見通し。

追加した訴状によると、県警と警察庁が保有しているとされる住民4人の個人情報が人格権を侵害しているとして個人情報の抹消を求めている。最初に起こした損害賠償訴訟で原告団は大垣署員が2013年8月～14年6月、4人の名前や学歴などの個人情報を少なくとも4回、同社に伝えたと主張している。

原告団の一人、大垣市の近藤ゆり子さん(68)は岐阜市内で記者会見し「警察に監視され続け、情報を収集されて使われることは許されない。この裁判を通じて自由な社会を作っていきたい」と話した。県警は「訴状が届いていないのでコメントはできない」としている。【沼田亮】

2018年1月30日
毎日新聞

県と国を追加提訴へ

大垣漏えい 原告「情報削除を」

西濃地方の風力発電施設建設を巡り、反対する住民の個人情報を、大垣署員が中部電力子会社のシーテック（名古屋市）に提供したとされる問題で、プライバシー権などを侵害されたとして県に損害賠償を求めている大垣市の六十代の男女四人が、県と国に対し、保管していると思われる個人情報の削除を求め、追加で提訴することが分かった。

原告弁護団が二十三日、岐阜市で開いた会見で明らかにした。岐阜地裁で二十九日にプライバシー権の訴訟で口頭弁論があり、その前に追加提訴する。

原告らによると、提訴前の二〇一四年七～八月、県警に自分たちについて収集、保管している個人情報の開示を請求したが、県警は個人情報の有無を明らかにしない非開示決定をした。ただ、原告らは県警と警察庁警備局がそれぞれ保管していると推認し、県と国に対して訴訟を起こす。

弁護団事務局長の小林明人弁護士は「警察が違法に収集した個人情報の抹消を求めることが、原告の直接的、効果的な権利救済になる」と強調した。

2018.1.24 中日

2018.1.24 岐阜

個人情報の抹消求め県を提訴へ

風力発電施設反対派

大垣市などで計画されている風力発電施設の建設を巡り、県警が収集した反対派住民の個人情報を保有して利用しているせいで人格権を侵害されたとして、住民4人が近く、県と国を相手取り県警と警察庁に保有する4人の個人情報の抹消を求める訴えを岐阜地裁に起こす。弁護団が23日明らかにした。提訴は29日の予定。

弁護団によると、大垣署員が2013～14年に少なくとも4回、施設の建設を計画する中部電力子会社のシーテック（名古屋市）に4人の個人情報を提供したことが、同社の議事録から明らかになっている。弁護団は、議事録以外にも4人に関する個人情報を保有しているとみており、使用の差し止めと情報の抹消を求めて提訴する。

4人は、県警による同社への情報漏えい問題についても県に損害賠償を求めて岐阜地裁に提訴しており、現在係争中。弁護団は「警察が収集した不必要な個人情報は抹消すべき」と指摘している。

個人情報抹消へ追加提訴の方針

大垣署漏洩訴訟で原告

大垣市内の風力発電施設建設をめぐり、大垣署員から個人情報を中部電力子会社「シーテック」に伝えられた住民4人が県に計440万円の損害賠償を求めている訴訟で、原告側は23日、県と国を相手取り、原告の個人情報の抹消を求める追加提訴を岐阜地裁に起こす方針を明らかにした。

弁護団は、これまで本人の承諾なく収集してきた原告4人に関する個人情報について、県警と警察庁警備局が保持していることは「憲法が保障する人格権を侵害する」と主張。文書や磁気データの抹消を求めるといい、5回目の口頭弁論となる29日に岐阜地裁に訴えを起こす予定。

← 2018.1.24 朝日新聞

風力発電反対住民の情報抹消求め提訴へ

中部電力の子会社シーテック（名古屋市）が計画する風力発電施設建設に反対する住民らの情報を大垣署が同社に提供していた問題で、住民ら4人が県と国を相手取り、保有する4人の個人情報抹消を求める訴訟を岐阜地裁に新たに起こすことがわかった。代理人弁護士が23日、明らかにした。

代理人弁護士によると、同署は2013年から14年まで4回にわたり、4人の思想信条などの個人情報を同社に提供したとされる。

県警などが、当人の承諾なく収集した情報を保有するのは、憲法が保障したプライバシー権の侵害にあたるとしてその抹消を求める。

県警監察課は「訴状を見ていないのでコメントできない」、警察庁は「コメントを差し控えたい」としている。4人は一昨年、県を相手取り、精神的苦痛を受けたとして、損害賠償を求める訴訟を同地裁に起こして係争中。

2018.1.24 読売新聞

↓ 2018.1.24 毎日新聞

個人情報の抹消求め追加提訴へ

大垣署情報漏れ訴訟

中部電力の子会社「シーテック」（名古屋市）が岐阜県大垣市などに計画する風力発電施設を巡り、個人情報を県警大垣署が同社に漏らしたとして県に損害賠償訴訟を起こしている住民4人の弁護団は23日、国と県を相手取り、個人情報の抹消を求めて29日に岐阜地裁へ提訴すると明らかにした。

損害賠償訴訟で原告団は、大垣署員が2013年8月～14年6月、4人の名前や学歴などの個人情報を少なくとも4回、同社に伝えたと主張している。

新しい訴訟の訴状によると、県警と警察庁が4人の個人情報を保管している。「人格権を侵害しており、個人情報の抹消を求める」と訴える。【沼田亮】